

耳鼻咽喉科

【耳鼻咽喉科とは】

耳・鼻・のど・頸部に発生する病気全般を治療する診療科で、耳が原因するめまい症状の治療や頸部腫瘍の治療も行います。当院では常勤医2名が協力して奈良県西和地区の基幹病院として診療し、必要な場合には手術加療も行います。耳鼻咽喉科領域の病気でお困りの方は、お気軽に受診して下さい。



【当センター耳鼻咽喉科の特徴】



私達は耳鼻咽喉科領域の全ての病気に対応できるように、必要な検査機器を準備し正確な診断ができるよう努めています。特に鼻の病気についてはお困りの患者さまも多く、内服治療で十分な効果の得られない副鼻腔炎に対して、侵襲の少ない内視鏡を用いた手術加療を行なっています。

<外来診療担当表>

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
一診	金田	金田	金田	金田	
二診	吉波	吉波	吉波		吉波

病気の話①

良性発作性頭位めまい症

●どのような病気ですか？

めまいは脳や心臓、内耳など数多くの原因で起きる症状ですが、その中で一番頻度の高い病気です。内耳には生物にとって重要な加速度や重力を感じるために、カルシウム成分で構成された耳石と言われる石があります。それが加齢的变化やストレス、脱水、頭部外傷などにより内耳の壁から脱落し、体のバランスを調整する三半規管の中に迷入することで発症します。



●特徴的な症状は？

症状はお布団から起きる時や寝る時、寝返りをした時、洗濯物を干すために上を向いた時、靴を履くときに下を向いた時などにぐるぐる回るめまい症状を自覚します。また、頭を動かさずにじっとしていると1分以内にめまい症状は消失し、再び体を動かすと症状が再燃する特徴があります。

●診断は？

めまい症状を自覚する時には必ず眼振と言われる現象が出現します。眼振とは自分の意識に反して勝手に眼球が動く運動で、それにより周囲の景色が回りめまい症状となります。眼球が回る現象が「めまい」の語源となっていることも理解できると思います。この現象を利用してめまいの診断を行うのが耳鼻咽喉科の専門で、眼振パターンにより診断を確定します。



●治療は？

三半規管の中に入ってしまった耳石はリンパ液内に浮遊しますので、重力を利用した耳石置換療法と言われる体操で追い出すことができます。うまくいけば1回の体操でめまい症状は消失しますが、耳石の数が多い場合には数ヶ月間を要します。また、症状の程度に合わせて内服治療も行います。



皮膚科形成外科

身体を覆う皮膚は外界からの影響を絶えず受け、様々な皮膚疾患が生じます。また、内臓疾患に伴い皮膚症状が生じることもあります。当科では、皮膚科疾患全般にわたり診療を行っております。

また、形成外科専門医と連携して、皮膚腫瘍などの外科治療を行っております。形成外科とは、変形したり失われた皮膚組織を、機能の回復だけでなく形も正常に近い状態に再建し、社会生活の質（QOL）の向上に貢献する専門外科です。

気になる皮膚症状やできものございましたら、お気軽に皮膚科形成外科を受診して下さい。

<外来診療担当表>

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
一診	横井	横井	横井	前田(午前)	横井
二診	前田(午前)	葛城(午前)	青木	青木	青木(午後)
三診	青木	青木(午前)			
形成外科	竹内(午後)				萬木(午後)
フットケア	担当(午後)		担当(午後)		担当(午後)

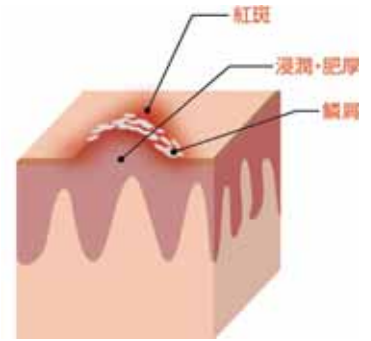


病気の話②

乾癬（かんせん）

●乾癬とは？

「乾癬」は、慢性の炎症性の皮膚の病気です。皮膚の細胞が異常に増殖することで、様々な症状がでてきます。現在、日本には約40～50万人の乾癬の患者さんがいますが、食生活の欧米化などにより、増加傾向にあります。約2:1の割合で男性に多いこと、思春期以降または中年以降の発症が多いことが特徴です。



乾癬の皮膚症状

●どんな症状？

はじめは、にきびのような赤い発疹や大量のフケで気づく人が多いようです。しかし、症状が進むと皮疹の数が増え、いくつかの皮疹が一緒になったり、ときに全身に及んだりすることもあります。



男女比

丸いやや盛り上がった赤い皮疹を紅斑といい、尋常性乾癬では特徴的です。



ひじやひざなど、物理的刺激を受けやすい部位で乾癬の皮疹がよくみられます。



全身に拡大してしまうこともあります。



乾癬患者さんの2割程度に爪の病変がみられます。



●どうしたらいいの？

皮膚の乾燥を防ぐ

皮膚の乾燥は、乾癬の症状を悪化させます。加湿器や保湿剤などを利用して、乾燥しないように注意しましょう。



喫煙は控える

たばこは乾癬の症状を悪化させるといわれています。禁煙するように努めましょう。



趣味やスポーツで気分転換

ストレスは乾癬を悪化させる要因となります。趣味やスポーツなど、自分なりの気分転換・ストレス発散の方法を見つけるとよいでしょう。



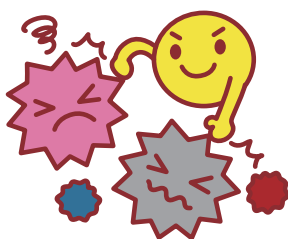
毎日入浴し、体を清潔に保つ

日々の入浴は、皮膚を清潔に保つだけでなく、皮膚の保湿や心身のリラックスにも有効です。「ぬるめのお湯につかる」「ナイロントオルよりも手でやさしく洗う」「洗髪は爪を立てず指の腹で洗う」事を心がけましょう。



感染症に注意

細菌やウイルスが体の中に入ると、乾癬の症状が悪化することがあります。こまめに手洗い・うがいを行い、予防を心がけましょう。



適度な日光浴はお勧め

太陽光線に含まれる紫外線を浴びることは推奨されますが、急激な日焼けや発汗で発疹やかゆみが悪化する場合があるので注意しましょう。

